



[248]

主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあつて死んだ人々が、まず最初によみがえり、空中で主に会い、いつも主と共にいるであろう。テサロニケ前書 4:16, 17

見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまして、人の目から涙を全くぬぐいとして下さる。

黙示 21:3, 4

5. 死にいたるまでも <sup>まこと</sup> 誠を <sup>つ</sup> 尽くしぬ。  
みかみは <sup>なみだ</sup> 涙を またくぬぐいたもう。

6. あ がなわれし <sup>いま</sup> 今 とわの <sup>やす</sup> 安き <sup>え</sup> 得ぬ。  
<sup>われ</sup> 我らもときわの <sup>す</sup> み住まいをめざさん。

7. 主の死は我らに <sup>めぐ</sup> いかなる恵みぞ！  
我らをも死にぞ <sup>か</sup> 勝たしめたまえや。